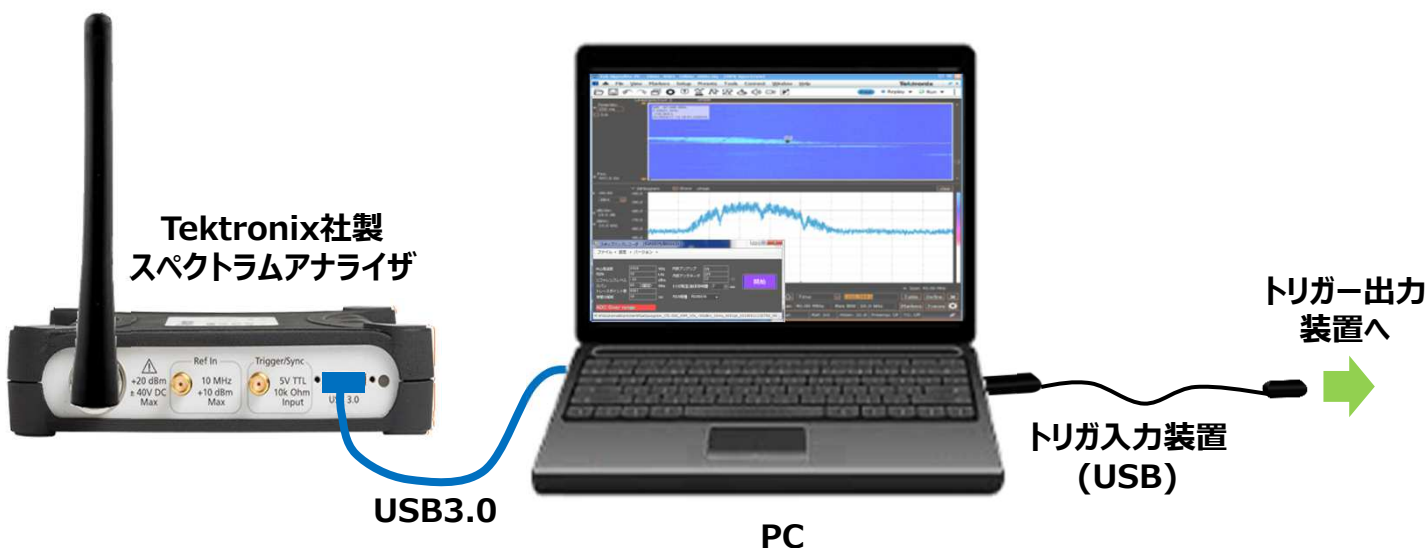


高周波計測ソリューションパッケージ

スペアナ・データロガー

- Tektronix社製高性能小型スペクトラムアナライザに対応し、1回の計測で最大100分のスペアナ・データを保存できます。
- ※ 例えばトリガ発生タイミングの前50分、後50分、合計100分を保存可能です。
- ※ 1回の計測時間、対象周波数帯など必要なパラメータは変更可能です。
- SSD等の記憶装置容量が許す限り、自動ループ計測を行います。
- 保存データをSignalVu-PC※に読み込んで、スペクトログラムとスペクトラムでトリガ前後の事象を詳細に確認できます。
- 発生頻度の低い事象を無人で自動計測する等の用途に最適です。

※ SignalVu-PCはTektronix社の製品です。



スペアナ・データロガー システム構成イメージ

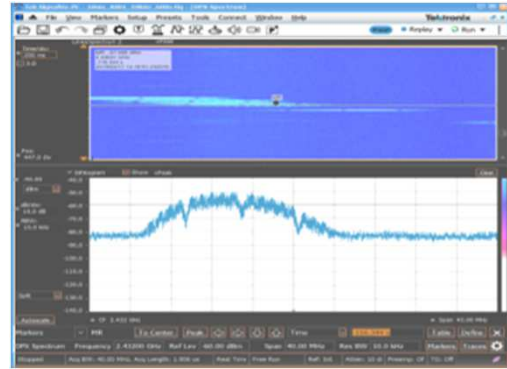
このパッケージに含まれるもの
CD(インストーラ、取扱説明書)、トリガ入力装置、ライセンス認証用ドングル

画面仕様

●メイン画面



●保存したデータをSignalVu-PCで表示

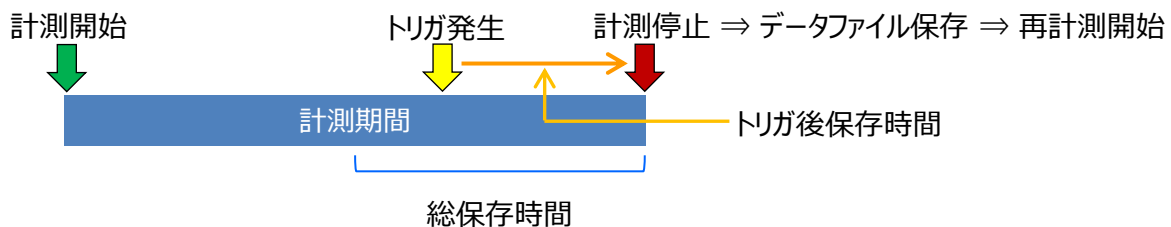


※ SignalVu-PCはTektronix社の製品です。

機能仕様

■ 機能

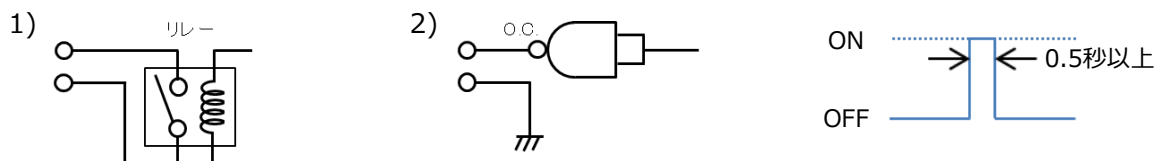
- 接続可能な計測器 : Tektronix社製スペクトラムアナライザ RSA300/500/600シリーズ
- 帯域幅 : 40MHz (固定)
- 時間分解能 : 1ms~100ms (6段階)
- 総保存時間 : 1分~100分 (時間分解能の設定による)
- トリガ後保存時間 : 0~100分 (総保存時間の設定による)
- データファイルサイズ : 最大500Mバイト (保存時間、トレースポイント数の設定でサイズが変わります)
- トリガ入力端子 : BNC-N(Fe) またはスクリーン端子台 ※ BNCタイプのトリガ出力はBNC-P(Ma)です。
- トリガ入力条件 : ノーマリーオープンのスイッチが接続される想定で、トリガ入力を0.5秒以上短絡する仕様です。



※トリガ発生後から次のトリガを受け付けるまでの時間は、条件設定(トリガ後保存時間、トレースポイント数等)や使用するPCの性能により決まります。

■ トリガ出力装置の例

トリガ入力に接続する、トリガ出力装置は以下のようなa接点(ノーマリーオープン)を想定しています。



※本製品は改善等のため、予告なく画面仕様、機能仕様等を変更する場合がありますので予めご了承ください。

- 製品に関するお問い合わせはこちら

Mebius 株式会社メビウス

〒220-0004 横浜市西区北幸2-10-27 東武立野ビル5F
電話 : 045-414-3019 (システムソリューション事業部)
メール : keisoku@mebius.co.jp

2020.8

PLB-01001-05